

第3章 大気測定車による調査結果

県では例年大気測定車「大気くん」を用いて、大気環境測定局が未設置の市町における大気状況の調査を行ってきたが、平成19年度においては平成19年3月に発生した能登半島地震による災害廃棄物一時保管場所において大気環境の調査を行った。

調査地点は、表3-1に示す3地点であった。

測定地点はいずれも能登北部であり、測定結果は最寄の常時監視測定局である七尾測定局、能登島測定局の値と比較した。また非メタン炭化水素については三馬局及び大田局と比較を行った。

表3-1 大気測定車設置場所

測定地点	所在地	設置場所	調査期間	調査日数
輪島	輪島市マリントウン2-1	輪島マリントウン駐車場	5月9日～6月28日	51
門前	輪島市門前町道下118-48-1	モータースポーツ公園	6月28日～7月31日	34
穴水	穴水町字川島ツ50-1	穴水町旧森林組合跡地	7月31日～9月28日	60

(注) 調査日数は、有効測定日に算定されない日を含む。

1 輪島測定点

輪島測定点は、輪島マリントウン内駐車場であり、北側200mに日本海が広がっており、南側は輪島市街地である。

表3-2 輪島測定点の測定結果

項目	輪島測定結果			短期的評価 ^{※1}
	1時間値最大値	期間平均値	1時間値最小値	
二酸化硫黄(ppm)	0.005	0.001	0.000	○
二酸化窒素(ppm)	0.018	0.003	0.000	○
一酸化窒素(ppm)	0.018	0.000	0.000	—
一酸化炭素(ppm)	0.5	0.2	0.2	○
光化学オキシダント(ppm)	0.109	0.051 ^{※2}	0.004	●
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.106	0.020	0.000	○
非メタン炭化水素(ppmC)	0.21 ^{※3}	0.16 ^{※4}	0.11 ^{※5}	—

※1 環境基準の達成状況（短期的評価）は、○で達成、●で非達成を表す。

※2 昼間（5時～20時）の1時間値

※3 6時～9時までの3時間平均値の最大値

※4 6時～9時までの期間平均値

※5 6時～9時までの3時間平均値の最小値

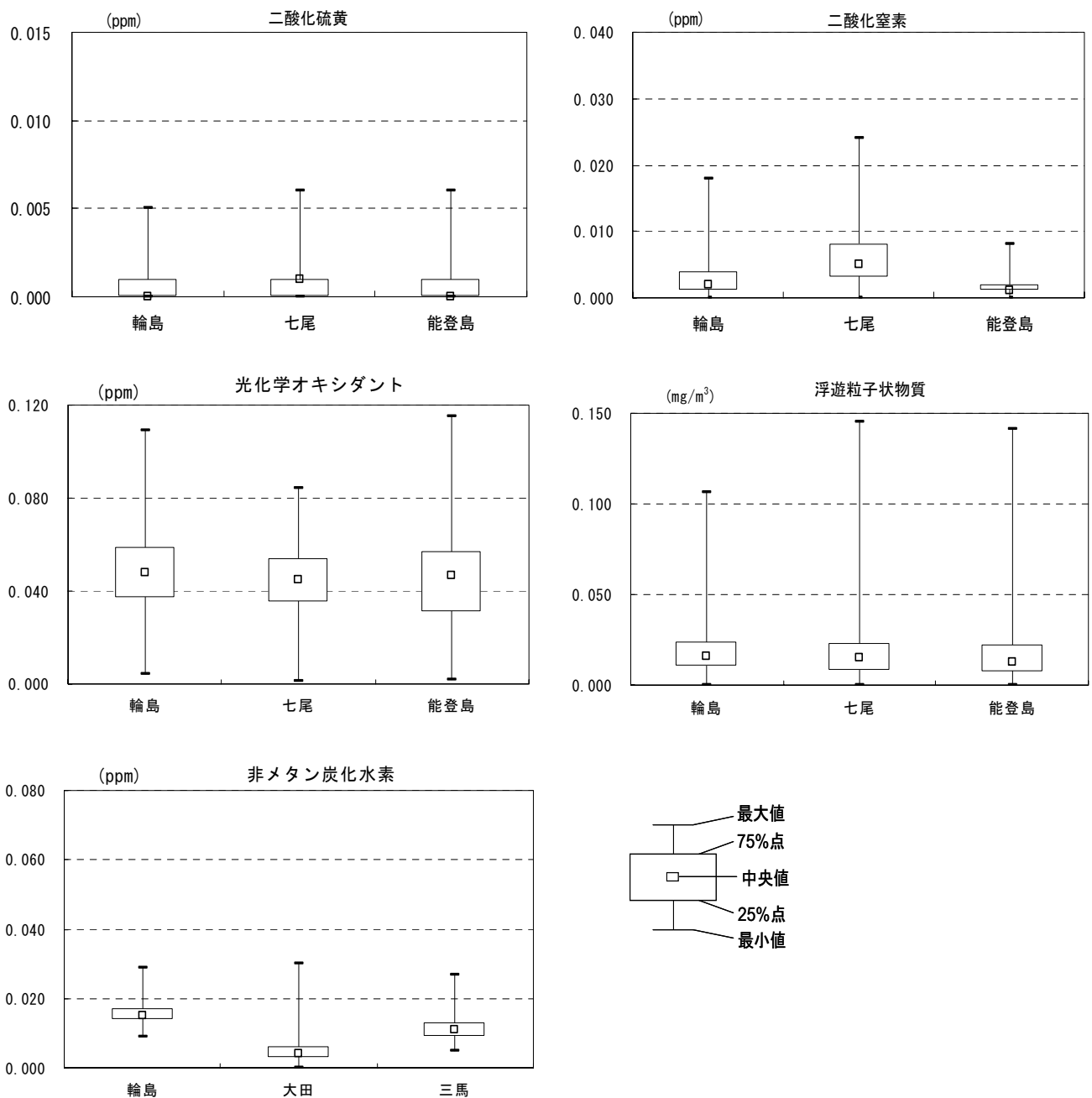


図 3-1 最寄り大気測定局の測定値との比較

表 3-2 及び図 3-1 のとおり、輪島測定点では非メタン炭化水素以外は低い値であった。環境基準の短期的評価では光化学オキシダントで非達成であったが全体的には清浄な大気であると考えられる。

2 門前測定点

門前測定点である輪島市門前モータースポーツ公園は山中にあり、周囲は森林で周辺に民家はない。南西 1.2km に日本海が広がっている。

表 3-3 門前測定点の測定結果

項目	門前測定結果			短期的評価 ^{※1}
	1 時間値最大値	期間平均値	1 時間値最小値	
二酸化硫黄(ppm)	0.001	0.000	0.000	○
二酸化窒素(ppm)	0.024	0.002	0.000	○
一酸化窒素(ppm)	0.036	0.001	0.000	—
一酸化炭素(ppm)	0.9	0.2	0.1	○
光化学オキシダント(ppm)	0.066	0.033 ^{※2}	0.010	●
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.096	0.017	0.000	○
非メタン炭化水素(ppmC)	0.19 ^{※3}	0.14 ^{※4}	0.11 ^{※5}	—

※1 環境基準の達成状況（短期的評価）は、○で達成、●で非達成を表す。

※2 期間平均値は昼間（5時～20時）の1時間値

※3 6時～9時までの3時間平均値の最大値

※4 6時～9時までの期間平均値

※5 6時～9時までの3時間平均値の最小値

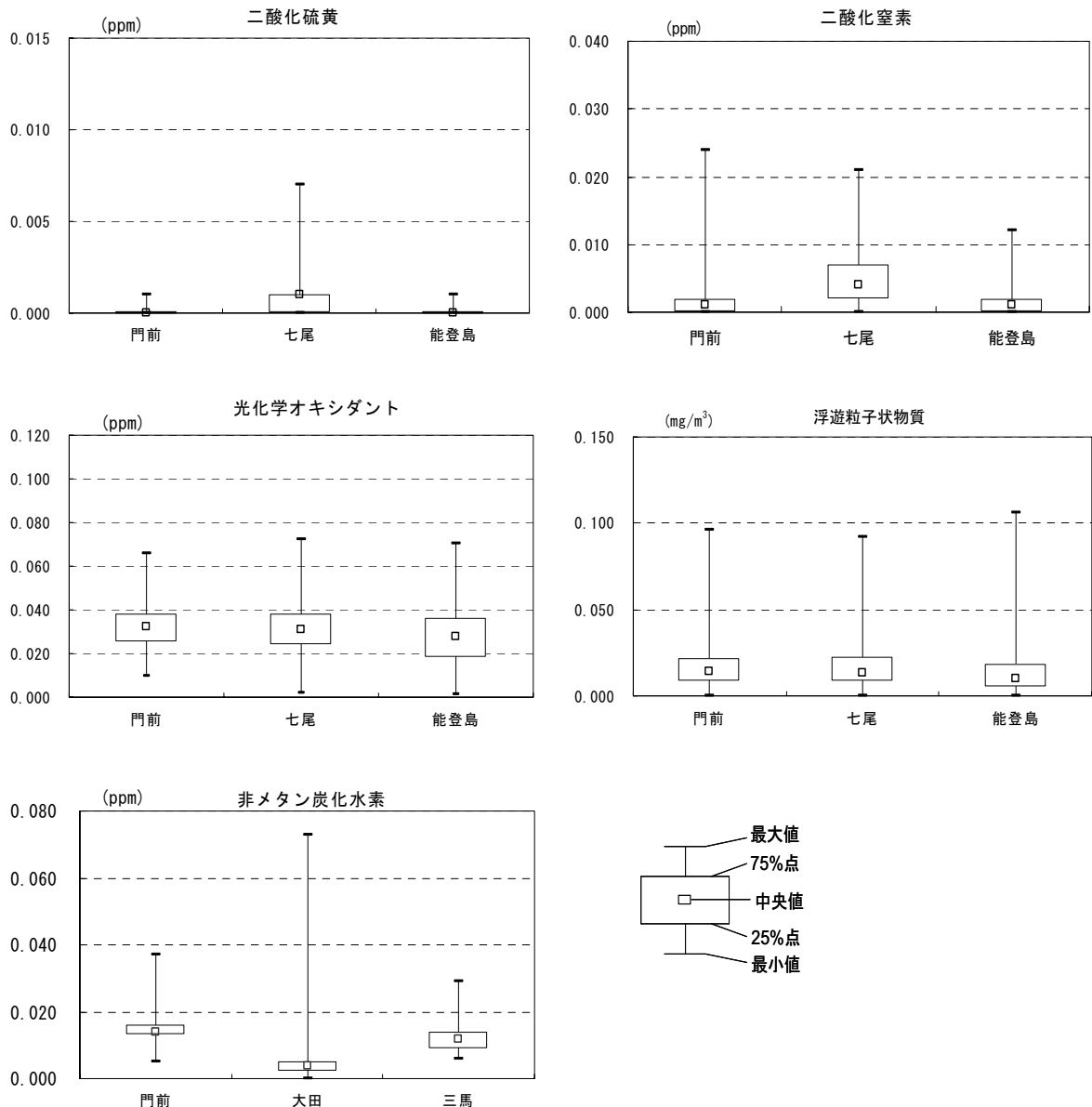


図 3-2 最寄り大気測定局の測定値との比較

表 3-3 及び図 3-2 のとおり、門前測定点では、非メタン炭化水素以外は低い値であった。環境基準の短期的評価では、光化学オキシダントで非達成となったが、全体的には清浄な大気であると考えられる。

3 穴水測定点

穴水測定点は、穴水町旧森林組合跡地で、西側は真名井川に隣接しており、東側 150m には小又川があり、南東 200m に穴水湾がある河口付近である。

表 3-4 穴水測定点の測定結果

項目	穴水測定結果			短期的評価※ ¹
	1 時間値最大値	期間平均値	1 時間値最小値	
二酸化硫黄(ppm)	0.002	0.000	0.000	○
二酸化窒素(ppm)	0.034	0.003	0.000	○
一酸化窒素(ppm)	0.045	0.001	0.000	—
一酸化炭素(ppm)	0.5	0.2	0.1	○
光化学オキシダント(ppm)	0.072	0.028※ ²	0.001	●
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.077	0.019	0.000	○
非メタン炭化水素(ppmC)	0.22※ ³	0.15※ ⁴	0.09※ ⁵	—

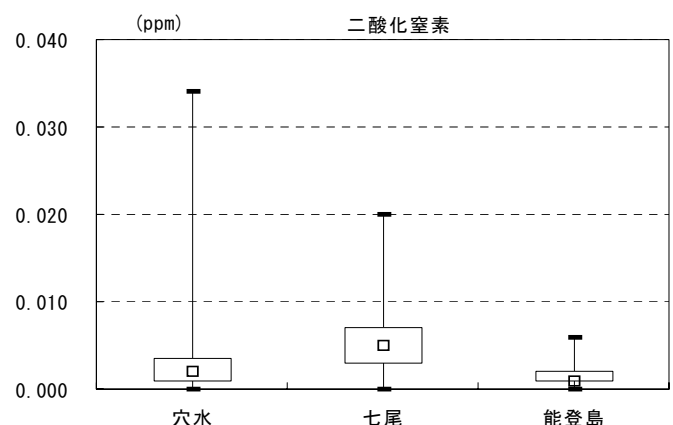
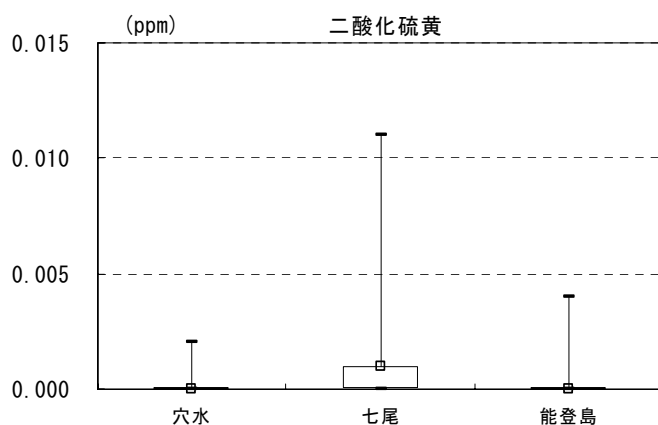
※1 環境基準の達成状況（短期的評価）は、○で達成、●で非達成を表す。

※2 期間平均値は昼間（5 時～20 時）の 1 時間値

※3 6 時～9 時までの 3 時間平均値の最大値

※4 6 時～9 時までの期間平均値

※5 6 時～9 時までの 3 時間平均値の最小値



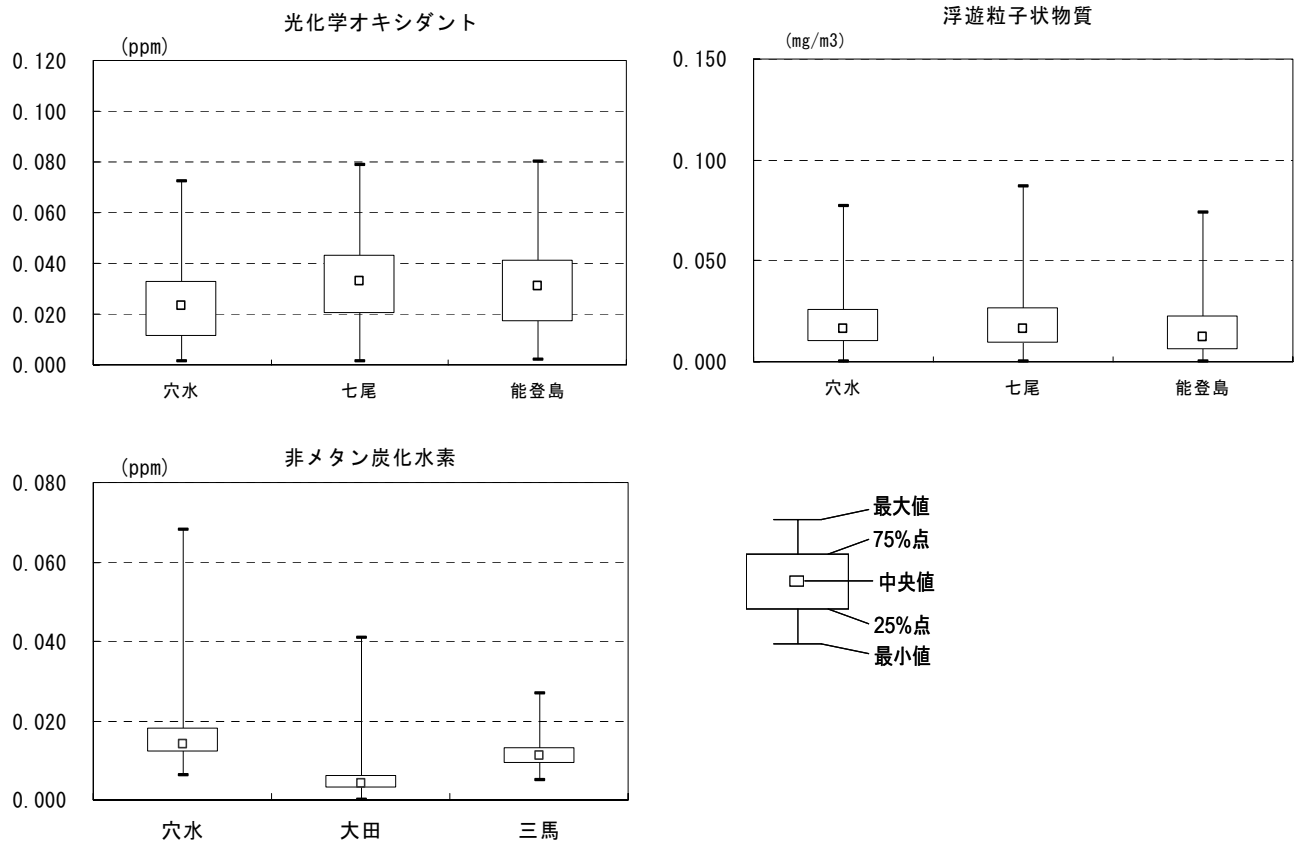


図 3-3 最寄り大気測定局の測定値との比較

表 3-4 及び図 3-3 のとおり穴水測定点では非メタン炭化水素以外は低い値であった。環境基準の短期的評価では、光化学オキシダントで非達成であったが、全体的には清浄な大気であると考えられる。

また、非メタン炭化水素については、3 地点とも同期間の他の常時監視測定局よりも若干高かったが、濃度指針(午前 6 時～9 時の間 0.20～0.31ppmC)は充たしていた。